

一橋大学社会学部連続市民講座 2008

一橋大学社会学部は 2008 年 4 月から連続市民講座の第三期を開講します。

「つながり」の《再》発見～人と社会のコミュニケーション

一橋大学社会学部は、第三期目となる全 10 回の連続市民講座を開講します。今回は、社会におけるコミュニケーションの変容のあり様を、歴史、文化、言語、教育、思想、情報などさまざまな視点からとらえることを通して、人間と社会を見つめ直してみたいと思います。第一期、第二期と同様、一橋大学社会学部の学際的で総合的な特長を生かす意欲的な取り組みとなります。8 回以上出席の受講者には修了証も発行いたします。多くの市民、そして高校生のご参加をお待ちしております。

2008 年度 講座一覧 (予定)

日程	担当者	タイトル
4 月 19 日 (土)	関 啓子	「ひとと緑を育み、ひととひとをつなぐ～環境保護の学習」
5 月 17 日 (土)	社会学部 特別企画	【一橋大学社会学部、清華大学人文社会学部、中国社会科学院政治学研究所】 社会学部主催日中国際シンポジウム 「中国の格差、日本の格差-格差社会をめぐる日中共同シンポジウム」
5 月 18 日 (日)		
6 月 21 日 (土)	深澤 英隆	「現代世界の宗教～宗教による人々のつながりと断絶」
7 月 19 日 (土)	中島 由美	「ことばのつながり・社会のつながり」
9 月 20 日 (土)	久保 哲司	「感性と社会～文学作品に見るその関係」
10 月 18 日 (土)	稲葉 哲郎	「メディアと対人関係」
11 月 15 日 (土)	土肥 恒之	「日本学を拓いたロシア人～エリセーエフとネフスキー」
12 月 20 日 (土)	山崎 耕一	「思想の伝播と影響 ～ 18 世紀フランスにおける啓蒙思想家と読者の知的交流」
1 月 24 日 (土)	足羽 與志子	「違いを超えて～暴力の記憶と和解への道」
2 月 21 日 (土)	田崎 宣義	「くにたちの町づくりと大学～人のつながり・人のちから」

会場 兼松講堂 / 時間 13:30～15:00

【5 月 17・18 日は、兼松講堂と本館を会場に 10:00～18:00

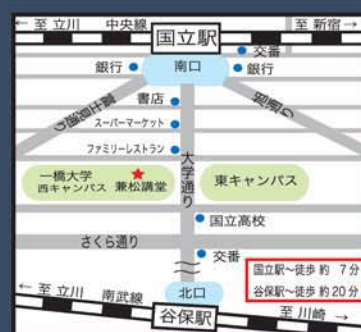
詳細は社会学部事務室までお問い合わせください。】

参加方法 参加は無料。どなたでも入場できます。当日、直接会場までお越しください。

問い合わせ先

一橋大学社会学部事務室
TEL 042-580-8212
e-mail jimusoc@ad.hit-u.ac.jp

一橋大学総務企画課
TEL 042-580-8010
e-mail soumus1@ad.hit-u.ac.jp



一橋大学は、国立大学法人の中では全国でただ一つの社会学部をもつ社会科学の総合大学です。その社会学部は社会科学の総合性を支えるユニークな存在として学内外で高い評価を受けており、その存在感は近年国際的にもますます高まっています。社会学部では、通例は法学部や文学部、教育学部に分散している社会科学の諸専門を一つの学部で体系的に学ぶことができるだけでなく、社会のさまざまな問題に専門を超えた学際的な方法で斬り込む先端的な知のあり方を獲得することができます。また、実践的で主体的、経験的で実証的、歴史的で現実的な姿勢は社会学部の全スタッフに共通する顕著な特徴であり、これが社会学部に独特の魅力を与えています。私たちは、こうした日々の研究と教育の成果を市民に向けて積極的に発信し、それが市民社会の発展に寄与するものとなることを願っています。また同時に、市民・学生との交流の中から新たな活力を得たいと考えています。

こうした思いで始められた連続市民講座も今年で3期目を迎えます。今回も、5月の国際シンポジウム(市民に開かれた国際的な学術交流の試み)を間に挟み、ユニークなテーマ(「つながり」の《再》発見～人と社会のコミュニケーション)で全10回の講座を提供していきたいと考えております。友人・知人の方々とお誘いあわせのうえ、ぜひ毎月、第三土曜日の午後、一橋大学のキャンパスで社会学部のユニークな知のあり方に触れてみてください。

渡辺 雅男 一橋大学社会学部長



講座担当教員

関 啓子(せき・けいこ)教授



専門分野は比較教育学、教育思想史、環境教育学。エスニシティ、エコロジー、ジェンダーの観点からの教育研究。担当科目は「教育の歴史」「比較教育学」「環境教育学」「地球市民論」など。

深澤 英隆(ふかさわ・ひでたか)教授



専門分野は宗教学・宗教社会学。ドイツ近代宗教史、宗教理論などを研究。担当科目は「宗教社会学」「社会変動論」など。

中島 由美(なかじま・ゆみ)教授



専門分野は言語学。スラヴ語学、および方言研究に携わっている。担当科目は「ことばと社会」など。

久保 哲司(くぼ・てつじ)教授



専門分野はドイツ文学。とくに批評家ヴァルター・ベンヤミンについて研究。担当科目は、「ヨーロッパの社会と文化」「文芸思想研究」など。

稲葉 哲郎(いなば・てつろう)准教授



専門分野は社会心理学。メディア・コミュニケーションの効果などを研究。担当科目は、「マスコミュニケーション基礎論」「マスコミュニケーションの諸問題」など。

土肥 恒之(どひ・つねゆき)教授



専門分野は西洋社会史、特にロシア近世。担当科目は「歴史学」「ヨーロッパ社会史概論」「ヨーロッパ社会史特論」「社会史方法論」など。

山崎 耕一(やまざき・こういち)教授



専門分野は18世紀フランスの社会思想・文化の社会史。地方文化人・読書人の読書傾向と思想形成などを研究。大学院で「社会思想」を担当

足羽 與志子(あしわ・よしこ)教授



専門分野は文化人類学。アジア、北米、日本などをフィールドとし、紛争、和解、文化政策、価値の生成等を研究。スリランカの和平構築の実践にも携わる。担当科目は「平和社会論」など。

田崎 宣義(たさき・のぶよし)教授



専門分野は日本社会史。日本近代の社会史、地元・国立の歴史などを研究。担当科目は、「歴史学」「日本社会史特論」など。

社会学部主催日中国際シンポジウム (一橋大学社会学部、清華大学人文社会学部、中国社会科学院政治学研究所)

「中国の格差、日本の格差：格差社会をめぐる日中共同シンポジウム」

激しい経済成長のなかで格差の拡大に苦悩する中国、失われた十年の経済不況を格差拡大で乗り切ろうとする日本、ともに抱える格差社会の諸問題を日中の社会科学者が協力して解明に挑む、市民に開かれた国際シンポジウム。